



さとやまべ

新年を迎えて

平成29年1月1日現在

世帯数	: 5,159 戸
男	: 5,724 人
女	: 6,142 人
計	: 11,866 人

あけましておめでとうございます。

元旦は全国的に初日の出が見られました。今年一年明るい良い年でありますように祈りたいものです。

さて、この所活字離れのこと言われています。私も先日買物に行った時のことですが、名前を尋ねられまして秀雄の「雄」の字は英雄の「雄」ですと答えたのですが女性店員が「雄」という字を書けないでいました。するとその女性店員が「私、漢字が書けない女子なんです」と答えたのに驚いてしまいました。

年賀状ですが、以前は手書きが多くありましたが最近では両面とも印刷した物が多くなってきました。手書きの文章を見ますとなんだか暖かみを感じます。

また、最近では新聞を読む人が減少しているとのこと。新聞や本を読む人は



藤井の花岡金司さん宅のイルミネーション

認知症などになりにくいそうです。小学生でも新聞を読む子供は授業の成績もよいとのこと。学校でも新聞を授業に取り入れている所が増えているようです。漢字が書けない女子や認知症などにならないように新聞や本を読み活字にたくさん触れるようにしたいと思います。

最後に、館報「さとやまべ」も2ヶ月に1度の発行です。ので、隔々まで読んで頂きたいと思います。

館報編集委員長 赤木 秀雄

民生児童委員 決まる

新しくお世話になる
民生児童委員の皆さんです。
(敬称略)

◎会長 ○副会長 ☆新任

下金井 新井 湯の原 藤井 上金井 薄川 兎寺 荒町 西小松 北小松

○赤羽節夫・新井壽子
☆駒井千枝子・新井ひろこ
☆花岡鈴子・金井與枝
☆山本宏子
☆矢崎麗子
○小幡周子
☆古幡敬子
☆竹岡佳洋子・☆榎清子
☆市原シゲル
☆藤井佳子



南北小松 ☆宮澤澄子
西小松 高山良三
林 小岩井道子
美里町 ◎赤羽哲夫
若里町 古澤由美子
小松町 吉澤澄子
【主任児童委員】
北 部 辻トメ子
南 部 百瀬愛子

任期は平成 28 年 12 月 1 日～
31 年 11 月 30 日

人権啓発講演を聞いて

今回の講演会は、声楽家の狭間壮先生による、トークと歌「母・いのちと向き合う時」という内容のお話しをお聞きしました。

「雪やこんこ」の素晴らしい

長寿会も皆さん元気で町会行事に積極的に参加してくれました。我が町会には美里緑地があり、子供達の遊具が少しあります。周囲には花壇もあり、四季折々の花が咲き、楽しみです。又、写真に写っている数メートルの太木「泰山木」があります。泰山とは中国の山東省にある名山の名前で、最もあおぎ尊ばれる人になぞらえているそうです。素晴らしい太木で、町会の発展を見守ってくれているように思います。



美里緑地の「泰山木」

歌ではじまり、戦争中の大変だったお話し、現在のいじめの問題などを語られ、「人権とは、人が生まれて死ぬまで命を奪われない権利。私達は生きる権利がある。」と話されました。私達はもう一度、命の大切さ、生きる権利について考え、向き合っていきたいと感じました。先生は童話もいくつか紹介さ

先生のトークと歌から伝わる「生きることの大切さ、命の尊さ」は、もっと多くの皆さんに聞いてほしいお話しでした。

湯の原町会民生委員 花岡 鈴子

わが町紹介

● 美里町町会 ●

共助・共生精神

我が町会は149戸の町会です。

マレットゴルフ、民踊、太極拳等の同好会があり、健康促進コミュニケーションの場として楽しくやっております。多くの参加者を望みます。

うに思います。

これからは少子高齢化社会がますます深刻です。隣り近所地域共々が「共助」「共生」の精神で頑張りたいと思います。

美里町公民館長 永高 清美

次世代を担う若者に期待!

平成28年度里山辺地区で成人になられた方は、男性45人、女性46人の合計91人です。おめでとうございます。

責任感を持つて

小岩井 恵(南小松)



晴れ着姿の恵さん

社会人への志

田村 孝平(新井)

私は三人兄妹の末っ子で、幼い頃から両親や祖父母、兄姉に囲まれて育ちました。また多くの素晴らしい友達がいって恵まれた環境だと思います。

ただその一方で、周囲の助けに甘えている自分を意識することが度々あります。最近、責任感の大切さを意識する機会が多くなり、成人式を迎えるにあたって、更にその言葉の重みを感じています。

これからは、今まで以上に責任感ある行動を心掛け、お世話になった人々への感謝の気持ち忘れずに、自分の将来の目標に向かって歩んでいきたいと思っています。



弟さんと記念撮影する孝平さん(左)

私の中で成人式をむかえるという事は、大人への第一歩だと考えています。

私は去年公務員試験を受け無事合格し、いよいよ今年から働くこととなります。そんな節目の年に二十歳になるので、大人になるという自覚をしつかり持ち、責任感のある公務員を目指し日々精進していきたいと考えています。また、0歳から今まで時に厳しく、愛情を込めて育てて下さった親や、社会に出て恥ずかしくないよう指導して下さいました先生方に感謝の意味も込め、カッコイイ大人になり恩返しをしたいと思っています。

初めての太極拳



去年三月、仕事を辞め一週間程は時間に拘束されず、自由で気ままな生活を満喫していました。

「でもでもつまらない!少しばかりの畑仕事。草むしり。まだ何かできる。」

公民館だより等細かく見るようになり、公民館主催の講

座を気に留めてみると、様々な講座を知ることができました。

ピンキラ講座を受講したところ、体力、筋力の衰えがはっきりわかり、これはと思つていたところ、タイミンクよく太極拳講座をやってみることにしました。

見るとやるとでは大違い、ゆつくりの動きなのですが、かなり足腰に響きますし、動きの順番を追っていくのが難しいですが終わった後、とても気持ちがいいんですね。

これからも自分に向いている講座を選び、利用させていただきます。

荒町町会 熊合 みや子

里山辺地区

地域包括ケアシステム勉強会を開催

東部地域包括支援センター 勝山 英敏

高齢化のピークを迎える2025年を前に、介護保険財政の逼迫、認知症高齢者の増加等々今後の生活への不安は尽きません。その中で国は、「いつまでも住み慣れた自宅で地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」として「地域包括ケアシステム」を打ち出しました。

昨年12月8日に、町会長、民生児童委員、町内公民館長等、地域の皆様にお集まりいただき、地域づくりセンター、地区公民館と協力して「里山辺地区地域包括ケアシステム勉強会」を開催いたしました。

松本大学の尻無浜博幸教授をお迎えし、「里山辺地区の高齢者支援のあり方を考える勉強会」と題してご講演いただきました。

松本市は住民自治組織が充実した街であり、里山辺地区でもちょっとした手助け等町会のチームワークで見出せる下地がある事をお示しいただきました。

東部地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口として、誰もが迎える高齢期の暮らしを地区の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。



美しい出来映えの鉢植え

冬の

ガーデニング講習会を開催

里山辺公民館恒例の冬のガーデニング講習会を11月25日に開催しました。テーマは「冬に楽しむほっこり鉢植え」で19人の参加でした。